

猪名川町里山再生基本計画（案）に対する パブリックコメント及び町の考え方

意見募集期間：令和6年2月1日～2月29日

意見提出者数：2人

提出意見数：5件

■猪名川町里山再生基本計画(案)について提出された意見の概要と町の考え方

番号	意見 提出者	頁	章	該当箇所	意見の概要	意見に対する考え方(対応)
1	1	29 30 34 35 38	3	3. 里山再生 の具体的な 取組	<p>(1) 第3章「取組」の「事業費」: 「予算の範囲内」とあるが、猪名川町としてこの分野に、町の発展を想定してどれだけ投資するかの考察、議論、記述が必要ではないか?</p>	<p>里山再生にかかる各施策の事業費につきましては、森林環境譲与税等を活用した単年度事業費を想定しています。このため、事業の効果をみながら、森林環境譲与税等、予算の範囲内で見直しを行う予定です。</p> <p>また、事業効果の高い施策を優先して、予算の配分を行う必要もあると考えております。</p>

2	1	27 ～ 43	3	3. 里山再生の具体的な取組	<p>(2) 第3章：新規の施策： 里山の資源を活用するには、それに併行、あるいはそれ以前に里山の整備が必要であるが、そのためには、住民の理解、人材育成が重要・不可欠である。</p> <p>この観点から、新規の施策、すなわち、「新たな活動主体の参入促進」「指導者の派遣等」「里山体験カリキュラムの実施」「地域住民との連携」「里山に関する取り組みの情報発信」が挙げられているのは、非常に好ましく、発展につながる計画であり、具体的実施が期待される。これらを優先的に実施することで、全体の推進が促進されると思われる。</p> <p>これらの施策の「具体的な取り組み」に記述はされているが、下記のことをより具体的に記述した方が良いと考える。</p> <p>①里山について理解を深めるための講演会などの実施 公民館主催の講演会などの活用、北摂里山大学との連携など</p> <p>②技術講習会の実施 安全講習、作業機器（チェーンソー、刈り払い機など）</p> <p>③保険の設定 ボランティア保険など</p> <p>④作業機器の提供 チェーンソー、刈り払い機、軽トラ、安全装備などを町で保有し、貸し出すなど</p> <p>⑤広報 住民の理解を得て、参加してもらうには、計画のPRが必要である。</p>	<p>より具体的に記載する方が住民の理解が進むとのことご意見を考慮して、一部記載を改めさせていただきます。</p> <p>また、各施策を展開するにあたっては、住民の協力・参加が必要であり、PRの充実に努めます。</p> <p>① 里山について理解を深めるための講演会などの実施については、P.43取組⑧-2 里山に関する取組の情報発信において、「また、公民館を所管する教育委員会や北摂里山大学と連携し、里山について理解を深めるための取組についても検討していきます。」と追記します。</p> <p>② 技術講習会の実施については、P.29取組①-3 専門家・指導者の派遣等において、「新たな担い手確保のため、里山オーナーや里山活動に興味のある方に対して、チェーンソー・刈り払い機等の安全技能講習や知識を習得する機会の創出を行います。」と一部記載を改めます。</p> <p>③ 本計画では、P.30取組②-1 里山活動地の確保に記載している活動への支援に含んでおりますので、改めて記載いたしません。 ボランティア活動に対する保険対応については、既に以前から町において経費負担しております。</p> <p>④ 作業機器の提供については、町が機器を保有して貸し出すことは現時点では考えていません。</p> <p>⑤ 広報については、P.43取組⑧-2 里山に関する取組の情報発信に記載していますが、本計画が施行された際は町ホームページ等を通じて広くPRしていきます。</p>
---	---	---------------	---	----------------	--	---

3	1	46 ～ 47	4	<p>1. 里山再生の推進体制</p> <p>2. 里山再生の進行管理</p>	<p>(3) 第4章</p> <p>第3章までの記述に比べ内容が薄く、締まりの無い計画書の印象になっている。</p> <p>この種の書類はこのようなものなのか？</p> <p>このようなものならやむを得ないが。</p> <p>記述されている「推進体制」や「進行管理」は、プロジェクトを進める上で当然のことで、猪名川町としての特徴が感じられない。</p>	<p>本章においては、計画内容を具現化するための一般的・普遍的な手法を記載するに留めていることから、特徴的な表現とはなっておりません。</p> <p>令和6年度以降、第3章記載の各種具体事業を推進するために必要となる体制の構築、事務事業の進捗を管理するための進行管理について、里山再生事業を着実に実行すべく取り組んでまいります。</p>
4	1	46 ～ 47	4	3. 数値目標	<p>(4) 第4章</p> <p>「数値目標」に示している以外の施策の達成目標を定めることが必要ではないか？</p>	<p>「数値目標」については、本町の里山施策にかかる代表的で分かりやすい項目について達成目標として設定しました。</p> <p>今後、PDCA サイクルをまわしながら進捗管理を進める中で、新たな数値目標等についても検討して参りたいと考えています。</p>

5	2	47	4	3.数値目標	<p>計画案を読み終えて、数値目標の低さに驚きました。総花的に問題点や課題が取り上げられていますが、猪名川町としてはここに重点を置く、ということが伝わってきません。</p> <p>再考をお願いします。</p>	<p>本計画は今後の猪名川町の里山再生にかかる課題を洗い出し、取り組むべき方向性を総括的かつ横断的に明示して、新たな行政計画となります。</p> <p>今後、各事業に積極的に取り組み、PDCA サイクルを回すなど、進捗管理を行う中で、効果的・重点的に取り組む分野を見定めていきたいと考えています。</p>
---	---	----	---	--------	--	--